

令和8年度

入 学 者 選 抜 要 項

令和7年8月6日一部訂正

令和7年7月



令和7年8月6日

令和8年度福井大学入学者選抜要項の一部訂正について

福 井 大 学

令和7年7月28日（月）に公表しました「令和8年度福井大学入学者選抜要項」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正します。なお、本学ホームページに掲載しているPDFデータでは、訂正箇所を赤字にて表記しております。

記

【訂正箇所】

一般選抜 国際地域学部・前期日程

33 ページ 教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等

誤) 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C

正) 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C

入学者選抜日程の概要

事 項			募集要項 発表予定	出願期間	選抜日	合格者発表	入学手続
選抜の種類							
一般選抜	前 期 日 程 (全 学 部)		11月上旬	令和 8年 1月26日(月) ～ 2月 4日(水)	令和 8年 2月25日(水) 2月26日(木)(※)	令和 8年 3月 6日(金)	令和 8年 3月 9日(月) ～ 3月15日(日)
	後 期 日 程 (全 学 部)				令和 8年 3月12日(木)	令和 8年 3月20日(金・祝)	令和 8年 3月23日(月) ～ 3月27日(金)
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ	教育学部	9月下旬	令和 7年 11月 4日(火) ～11月 7日(金)	令和 7年 11月15日(土)	令和 7年 12月 1日(月)	令和 7年 12月 4日(木) ～12月10日(水)
		医学部看護学科	9月上旬			令和 7年 12月 3日(水)	令和 7年 12月 5日(金) ～12月10日(水)
		工学部	8月下旬				
	学校推薦型選抜Ⅱ	教育学部	9月下旬	令和 7年 12月15日(月) ～12月19日(金)	令和 8年 1月31日(土)	令和 8年 2月10日(火)	令和 8年 2月13日(金) ～ 2月18日(水)
		国際地域学部					
		医学部医学科	11月上旬	1次〔書類選考〕 最終 令和 8年 2月 9日(月)	1次 令和 8年 2月 5日(木) 最終 2月10日(火)		
総合型選抜	総合型選抜Ⅰ	教育学部 (高大接続型入試)	8月下旬	令和 7年 11月 4日(火) ～11月 7日(金)	令和 7年 11月15日(土)	令和 7年 12月 1日(月)	令和 7年 12月 4日(木) ～12月10日(水)
		国際地域学部 (高大接続型入試)		令和 7年 10月14日(火) ～10月20日(月)	1次〔書類選考〕 最終 令和 7年 11月22日(土)	1次 令和 7年 11月12日(水) 最終 12月 2日(火)	令和 7年 12月 5日(金) ～12月11日(木)
	総合型選抜Ⅱ	工学部		令和 7年 10月14日(火) ～10月21日(火)	1次〔書類選考〕 最終 令和 7年 12月13日(土)	1次 令和 7年 12月 3日(水) 最終 令和 8年 2月10日(火)	令和 8年 2月13日(金) ～ 2月18日(水)
	私費外国人留学生選抜	工学部	5月中旬	令和 7年 10月14日(火) ～10月21日(火)	令和 7年 11月14日(金)	令和 7年 12月 3日(水)	令和 7年 12月19日(金) ～12月25日(木)
		国際地域学部	10月上旬	令和 8年 1月 8日(木) ～ 1月14日(水)	〔インターネット・ インタビュー〕 令和 8年 1月29日(木)	令和 8年 2月13日(金)	令和 8年 2月26日(木) ～ 3月 3日(火)
	私費外国人留学生選抜 (特別枠)	国際地域学部	7月下旬	令和 7年 9月29日(月) ～10月10日(金)	〔インターネット・ インタビュー〕 令和 7年 10月27日(月) ～10月31日(金)	令和 7年 11月12日(水)	令和 7年 12月 5日(金) ～12月11日(木)

- ・大学入学共通テストの日程は以下のとおりです。
大学入学共通テスト本試験：1月17日(土)・18日(日)
大学入学共通テスト追試験：1月24日(土)・25日(日)

- ・(※)26日(木)は医学部医学科のみ実施します。

・工学部の一般選抜（前期日程）教科・科目に係る個別テストについては、学外試験場に京都試験場（京都市：京都J Aビル）、名古屋試験場（名古屋市：ウインクあいち）を設置します。

・工学部の一般選抜（後期日程）教科・科目に係る個別テストについては、敦賀試験場（敦賀市：福井大学敦賀キャンパス）を設置します。（物質・生命化学科は除く）

〔注意〕

- ・入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人がこの入学者選抜要項に加えて各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。
- その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

〔ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この入学者選抜要項を参照の上、必ず**志願者本人**が行ってください。

目 次

I アドミッション・ポリシー	
1. 全 学 部 共 通	1
2. 教 育 学 部	2
3. 医 学 部	6
4. 工 学 部	12
5. 国 際 地 域 学 部	17
II 募 集 人 員	20
1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等	21
2. 工学部の所属コース等の決定	22
III 一 般 選 抜	
1. 出願資格	23
2. 入学者選抜方法	
(1) 入学者選抜方法等（教科・科目に係る個別テスト等）	24
(2) 入学者選抜の実施教科・科目, 配点等（一般選抜）	28
(3) 一般選抜の実技検査内容（教育学部学校教育課程）	34
(4) 一般選抜の小論文, 面接の内容（出題方針）等	34
3. 出願期間, 教科・科目に係る個別テスト等の日程及び合格者発表	35
4. 欠員補充	36
5. 障がいのある入学志願者等の事前相談	36
6. 入学資格審査を要する者の事前相談	36
7. 入学試験個人成績の開示	36
IV 学 校 推 薦 型 選 抜	
1. 入学者選抜方法等	37
2. 学校推薦型選抜の選抜方法	
(1) 学校推薦型選抜 I	38
(2) 学校推薦型選抜 II	47
(3) 入学者選抜の実施教科・科目, 配点等（学校推薦型選抜 II）	53
V 総 合 型 選 抜	
1. 入学者選抜方法等	56
2. 総合型選抜の選抜方法	
(1) 総合型選抜 I	57
(2) 総合型選抜 II	59
(3) 入学者選抜の実施教科・科目, 配点等（総合型選抜 II）	65
VI 私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	66
VII 資 料 の 請 求 方 法	72
VIII 入 学 検 定 料 免 除（返 還）・入 試 過 去 問 題 活 用 宣 言	73

※本要項中の教科・科目名等は, 下記のとおり略記により表記しております。

国語→国, 地理歴史→地歴, 数学①→数①, 数学②→数②, 数学→数, 理科→理, 外国語→外, 情報→情

I アドミッション・ポリシー

1. 全学部共通 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的な水準の教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成を理念・目標に掲げています。この理念・目標を達成するため、本学では以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

（１）求める学生像

- ①高度専門職業人として地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
- ②高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、専門分野の基礎となる知識・技能を修得している人
- ③正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
- ④豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有する人

（２）入学者選抜の基本方針

各学部においては、個々の特性およびアドミッション・ポリシーに応じて以上の観点を適切に選択し、かつ組み合わせられた入学者選抜を実施します。そして、各学部が求める能力・適性等を、多様な選抜方法・区分によって、公平かつ多面的・総合的に評価します。

2. 教育学部

(1) 教育学部で養成する人物像

公教育の担い手として多様な人々と協働できる人

教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけている人

学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援できる人

生涯にわたって学び続けることができる人

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人

人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人

子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人

教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学部では、各自が専攻する教科・領域のみならず、高等学校段階までに学習する基礎的な知識・技能が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、学修の過程では、ものごとを多面的にとらえ、地域や学校における実践コミュニティの一員として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける主体性も求められます。これらのことから、高等学校段階では、各教科内容はもとより、他者との協働的な活動などそれ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 入学者選抜の基本方針

【一般選抜(前期日程)】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、文系型・理系型の選抜では、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型(音楽)の選抜では、実技検査、実技型小論文及び個人面接を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型(体育)の選抜では、実技検査、実技型小論文を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜(後期日程)】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】(大学入学共通テストを課さない)

○高大接続型(嶺南地域枠)

調査書、推薦書、志願理由書等により初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接(プレゼンテーションを含む。)と集団討論により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型(技術)

調査書，推薦書，志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力，適性を評価します。また，実技検査，実技型小論文及び個人面接により，基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

○実技型(音楽)

調査書，推薦書，志願理由書等及び個人面接により，音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また，実技検査では，新曲視唱及び選択課題（ピアノ，声楽，管弦打楽器）により，表現の技能及び音楽性を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】(大学入学共通テストを課す)

○面接型(総合)

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

○面接型(特別支援)

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，特別支援教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

○面接型(家庭)

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，家庭科教育に対する目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

【総合型選抜Ⅰ(高大接続型入試)】(大学入学共通テストを課さない)

○実技型(美術)

プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書，志願理由書，自己推薦書等）により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性，および基礎学力を総合的に評価します。また，実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接により，教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜(前期) 文系型・理系型	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る 個別テスト	○	○	
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(音楽)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	個人面接	○	○	○
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(体育)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	調査書			○
一般選抜(後期) 統合型	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦型選抜Ⅰ 高大接続型 (嶺南地域枠)	個人面接(プレゼン テーションを含む。)	○	○	○
	集団討論	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	資料 ¹	○	○	○
学校推薦型選抜Ⅰ 実技型(技術)	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	実技型小論文	○	○	
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅰ 実技型(音楽)	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○

学校推薦型選抜Ⅱ 面接型（総合）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅱ 面接型 （特別支援）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅱ 面接型（家庭）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ 実技型（美術）	資料 ²	○	○	○
	実技検査	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	自己推薦書		○	○

○ 重視する

資料¹ 高等学校時代の取り組みや活動を説明する資料

資料² 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料

3. 医学部

(1) 医学部で養成する人物像

医 学 科	① 高い倫理観・責任感，優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を 実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して，医療における高度専門職業人として活躍 できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに，グローバルな視点に立って医 療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看 護 学 科	① 高い倫理観・責任感，良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看 護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し，高度専門職業人として活躍できる看護師・ 保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに，グローバルな視点に立ち「ふくい」 の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

医 学 科	① 医師となるにふさわしい豊かな人間性，周囲との協調性，コミュニケーション力，責任 感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち，人を思いやり，尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み，自ら学び 続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し，医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人
看 護 学 科	① 看護に関心を持ち，将来看護職として，地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し，人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にたって，人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち，主体的で意欲のある人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科では，高等学校段階までの数学や理科，英語をしっかりと学び，加えて国語，地歴公民，情報を含む6教科を総合的に学び，基礎学力が十分身につけていることが必要です。6教科を広く学ぶことで医学を学び生かす基礎学力と応用能力を養い，その中で人間性や協調性，責任感を身につけることを期待します。(医：学生像①～⑤)

医学科学士編入では、理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）、応用能力、学修意欲が十分身についていることが必要です。その中で医学における人間性や協調性、責任感共感力やコミュニケーション力、学士としての経験や意欲が醸成されていることを期待します。（医：学生像⑥）

看護学科では、高等学校段階までの基礎学力が幅広く十分身についていることが必要です。その中で人間性やコミュニケーション力を養い、基礎学力の上に立って人と地域社会に関心をもって学習に臨むことを期待します。（看：学生像①②）

(3) 入学者選抜の基本方針

【入学者選抜の基本方針】

医 学 科	様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。 ①一般選抜（前期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、教科・科目に係る個別テストを課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。 ②一般選抜（後期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、小論文を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。 ③学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人を選抜します。 ④学校推薦型選抜Ⅱ：地元出身者枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ⑤学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠（福井健康推進枠） 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ⑥学士編入学 大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、教科・科目に係る個別テスト、書類審査及び面接の成績を総合的に評価して選抜します。教科・科目に係る個別テストでは理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次前期（4月）に編入します。
-------------	---

看護学科	「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また、全ての試験に面接を課し、看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。 ① 一般選抜（前期日程） 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。 ② 一般選抜（後期日程） 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。 ③ 学校推薦型選抜Ⅰ 人物、学力ともに優秀であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し、小論文、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、書類審査により受験者の資質を評価します。
------	--

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

【医学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る 個別テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜 (後期)	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○
学士編入学	教科・科目に係る 個別テスト (自然科学総合)	○	○	
	志望理由書		○	○
	成績証明書	○		
	面接	○	○	○

○は重視するもの

【看護学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜 (後期)	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型 選抜Ⅰ	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○

○は重視するもの

4. 工学部

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電 気 電 子 情 報 工 学 科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学，半導体工学，計算機工学，情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより，電気系，情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	建築学と土木工学の基礎を修め，社会基盤施設の維持・管理，国土の強靱化，少子高齢化社会への対応，環境調和型の生活空間の構築等の課題に真摯に取り組み，安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献できる実践力ある人材を養成します。
物 質 ・ 生 命 化 学 科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究，化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求，医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて，持続可能で豊かな社会の実現に向けて，地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応 用 物 理 学 科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに，総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び，課題解決につなげる力，グローバルな行動力，倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

（２）求める学生像

（２－１）求める学生像

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

- １．グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
- ２．高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
- ３．正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
- ４．豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に，各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	１．ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人 ２．機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人 ３．機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人 ４．ダイバーシティ（多様性）を尊重し，全ての人が活躍できる社会の構築に，エンジニアとして貢献する意欲を有する人
電気電子情報工学科	１．電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人 ２．電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人 ３．論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建築・都市環境工学科	１．建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人 ２．社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物質・生命化学科	１．物質や生命の不思議にワクワクする人 ２．創造する化学にチャレンジしたい人 ３．新素材，繊維，バイオに興味がある人
応用物理学科	１．物理や数学に基づいて，ものごとを基本に返って考える能力を有する人 ２．先端科学技術分野への強い興味を持つ人 ３．ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

（２－２）入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では，高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また，それら以外の教科に関する知識も，ものごとを多面的にとらえ，専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから，高等学校段階では，数学や理科はもちろん，それ以外についても幅広く学習し，視野を広げておくことを期待します。

（３）入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、私費外国人留学生選抜、第３年次編入学試験を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、教科・科目に係る個別テスト（数学、物理）により、数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テストにより、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、教科・科目に係る個別テスト（数学、物理又は化学）により、数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

<後期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、教科・科目に係る個別テスト（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
物質・生命化学科	大学入学共通テストにより、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、面接（口頭試問を含む）により、目的意識・意欲、表現力等を評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて、大学入学共通テストを免除し、調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口頭試問を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
機械・システム工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
建築・都市環境工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
物質・生命化学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口頭試問を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

機械・システム工学科 応用物理学科	第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接により、目的意識・意欲、表現力等を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。
電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口頭試問を含む）により、目的意識・意欲、表現力及び学科の学修において必要となる論理的思考力等を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全 学 科 共 通	日本留学試験及び TOEFL の成績、並びに、面接、口頭試問及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力、意欲、適性、目的意識等を総合的に評価・判定します。
-----------	--

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性・多様性・協働性	
求める学習成果		・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能		・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力		・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜 (前期日程)	全学科	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 教科・科目に係る個別テスト		調査書
一般選抜 (後期日程)	MS, EI, AC, AP	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 教科・科目に係る個別テスト		調査書
	MB	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 面接（口頭試問を含む）		調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	EI	○	調査書 面接（口頭試問を含む）	○	面接（口頭試問を含む） 志願理由書	○	推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む）
学校推薦型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	MS	○	調査書 面接	○	面接 志願理由書	○	推薦書，調査書，志願理由書 面接
	AC, MB	○	調査書 面接（口頭試問を含む）	○	面接（口頭試問を含む） 志願理由書	○	推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む） プレゼンテーション（AC）
総合型選抜Ⅱ	MS, AP	○	大学入学共通テスト ○ 調査書	○	大学入学共通テスト ○ 面接 志願理由書 自己推薦書	○	自己推薦書，調査書，志願理由書 面接
	EI, AC, MB	○	大学入学共通テスト ○ 調査書	○	大学入学共通テスト ○ 面接（口頭試問を含む） 志願理由書 自己推薦書	○	自己推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む）
私費外国人留学生選抜	全学科	○	日本留学試験 成績証明書 ○ TOEFL	○	面接及び口頭試問	○	面接及び口頭試問

MS:機械・システム工学科，EI：電気電子情報工学科，AC:建築・都市環境工学科，MB：物質・生命化学科，AP:応用物理学科

5. 国際地域学部

(1) 国際地域学部において養成する人物像

国際地域学部では、地域や国際社会が抱える複雑な諸課題を探究し、課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけることによって、地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

国際地域学部では、養成する人物像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸課題について関心をもち、それについての探究を深め、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要となる専門的な分野の学習に取り組む意欲を持つとともに、課題解決の方法を探り、他の人と協働して実践的に取り組んでいくことに積極的である人。
- ③世界共通語的性格をもつ英語をはじめとして、多文化社会の中で活躍できる外国語コミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする人。

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

国際地域学部では、高等学校あるいはそれに準ずる教育課程において学習する基礎的学力が十分身につけていることを前提に、英語能力を含む人文・社会科学分野を中心とした専門的知識・技能に加えて、現代の複合的な課題を理解し解決するために必要なデータサイエンス等の自然科学分野の基礎的知識・技能も修得します。そのため、高等学校段階までに学ぶ各教科について、十分な基礎的学力を身に付けておくとともに、国や地域、文化や言語の多様性に目を向け、文系・理系の枠組みにとらわれず幅広い学問領域や現代社会の諸課題に対する興味を育んでおくことが期待されます。

(3) 入学者選抜の基本方針

様々な資質と背景を持った学生を受け入れるため、以下のような多様な入学者選抜を実施し、それぞれの選抜において、求める学生像にふさわしい能力・意欲・適性等を多面的かつ総合的に評価します。

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

出願書類（志願理由書、学習計画書）及びインターネットを利用した面接によって、日本語能力と国際地域学部で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と英語能力試験の成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠）

海外在住外国人を対象とし、英語能力試験の成績、日本語能力試験の成績、出願書類（志願理由書、推薦書、成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき、総合的に評価します。

上記の入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価・判定し、入学者を選抜します。なお、評価を行うにあたり、重視するものに○を付しています。学力検査の詳細と配点については募集要項に記載します。

入試区分	入学者選抜方法	基礎的な知識・技能	知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ (高大接続型 入試)	高等学校等での取り組みとその成果に関する レポート	○	○	○
	プレゼンテーション			○
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
私費外国人 留学生選抜	志願理由書		○	○
	学習計画書	○	○	○
	面接	○	○	○
	日本留学試験・TOEFL	○		
	成績証明書	○		
私費外国人 留学生選抜 (外国人特別枠)	面接	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書			○
	日本語能力試験	○		
	成績証明書	○		

Ⅱ 募集人員

学部	学科・課程・コース等		入学定員	募 集 人 員											
				一般選抜		学校推薦型選抜			総合型選抜						
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	私費外国人留学生選抜					
教育学部	学校教育課程	初等教育コース	100	選抜区分		選抜区分		選抜区分		選抜区分					
				文系型	13	統合型	9	高大接続型 (嶺南地域枠)	6	面接型 (総合)	10			実技型 (美術)	1
				理系型	11					面接型 (特別支援)	5				
				実技型 (音楽)	2					面接型 (家庭)	1				
				実技型 (体育)	2										
		60													
		文系型		8	統合型	4	高大接続型 (嶺南地域枠)	4	面接型 (総合)	4	実技型 (美術)			2	
		理系型		8											
		実技型 (音楽)		1					面接型 (家庭)	2					
		実技型 (体育)		3											
		40													
	教 育 学 部 計		100	48	13	14	22	3	—	—					
医学部	医 学 科		100	55	25		20								
	看 護 学 科		60	30	5	25									
	医 学 部 計		160	85	30	25	20	—	—	—					
工学部	機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科		155	75	30	20			30	各学科 若干名					
	電 気 電 子 情 報 工 学 科		125	63	37	10			15						
	建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科		60	30	17	3			10						
	物 質 ・ 生 命 化 学 科		135	75	30	10			20						
	応 用 物 理 学 科		50	20	20				10						
	工 学 部 計		525	263	134	43	—	—	85	若干名					
国際地域学部	国 際 地 域 学 科		60	30	12		10	8		若干名					
合 計			845	426	189	82	52	11	85	若干名					
						134		96							

注1. 学校推薦型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。学校推薦型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。

2. 総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。

3. 教育学部、工学部、国際地域学部の学校推薦型選抜・総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合は、一般選抜(前期日程)からその不足分を補充します。

4. 教育学部の前期日程、後期日程、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰの選抜方法については、次頁の「1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等」によるものとします。

5. 「専門学校・総合学科卒業生入試」、「帰国生徒・社会人等のための入試」は実施しません。

6. 「経済財政運営と改革の基本方針に基づく増員措置」等に基づく医学部医学科入学定員(10名)の暫定措置延長手続き中のため、医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの募集人員については、20名から増員変更となる場合があります。確定内容は学生募集要項で確認してください。

1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等

(1) 募集人員, 志願方法, 選抜方法等

前期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
文系型	初等教育コース	13名	21名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を文系型、理系型、実技型(音楽)、実技型(体育)の選抜区分ごとに選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	8名		
理系型	初等教育コース	11名	19名	
	中等教育コース	8名		
実技型(音楽)	初等教育コース	2名	3名	
	中等教育コース	1名		
実技型(体育)	初等教育コース	2名	5名	
	中等教育コース	3名		
学校教育課程 前期日程 計		48名		

後期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
統合型	初等教育コース	9名	13名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	4名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を統合型の選抜区分で選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
学校教育課程 後期日程 計		13名		

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	6名	10名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	4名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を高大接続型(嶺南地域枠)の選抜区分で選抜を行い、合格者を決定します。
実技型(技術)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
実技型(音楽)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
学校教育課程 学校推薦型選抜Ⅰ 計		14名		

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
面接型(総合)	初等教育コース	10名	14名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	4名		
面接型(家庭)	初等教育コース	1名	3名	2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を面接型(総合)、面接型(家庭)の選抜区分で選抜を行い、合格者を決定します。
	中等教育コース	2名		
面接型(特別支援)	初等教育コース	5名		初等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
学校教育課程 学校推薦型選抜Ⅱ 計		22名		

総合型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
実技型(美術)	初等教育コース	1名	3名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ, 中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	2名		2. 初等教育コース, 中等教育コースの志願者を実技型(美術)の選抜区分で選抜を行い, 合格者を決定します。

(2) 所属コース等の決定

所属するコース(初等教育コース, 中等教育コース)は, 合格発表時に決定します。
 所属するサブコースは, 2年次前期開始までに本人の希望と入学試験時の選抜区分及び入学後の成績等により決定します。

2. 工学部の所属コース等の決定

所属コース等の決定

機械・システム工学科（総合型選抜Ⅱ（特別枠）は除く）、電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科において、所属するコースは、2年後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学科	コース	コース配属時期等
機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース 選択は2年後期終了時までに行い、その後各コースへの配属となります。 なお、機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は、コース配属の3年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電 気 電 子 情 報 工 学 科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物 質 ・ 生 命 化 学 科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応 用 物 理 学 科	※コース選択はありません	

Ⅲ 一般選抜

1. 出願資格

本学の一般選抜に出願をすることができる者は、次のいずれかに該当し、かつ志望する学部・学科等が指定する令和8年度大学入学共通テスト（以下、「大学入学共通テスト」という。）の教科・科目（28～33ページを参照）をすべて受験した者としします。

- （1）高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月31日までに卒業見込みの者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和8年3月31日までに修了見込みの者
- （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当するもの又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みのもの
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和8年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定する者を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格者又は令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの（大学入学資格検定合格者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格（3）の⑥により出願を希望する者は、出願期間開始10日前までに本学学務部入試課へ問い合わせてください。

※出願資格（3）の⑦により出願を希望する者は、36ページ記載の「6. 入学資格審査を要する者の事前相談」に従い、手続きを行ってください。

※出願資格に不明な点がある場合には、出願前に本学学務部入試課へ文書により問い合わせてください。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程・後期日程）で実施し、大学入学共通テストの成績並びに教科・科目に係る個別テスト等の成績、調査書の内容を総合して行います。

学部別の入学者の選抜方法は、次の（1）から（5）までのとおりです。

- （1）入学者選抜方法等（24～27ページ）
- （2）入学者選抜の実施教科・科目、配点等（28～33ページ）
- （3）一般選抜の実技検査内容（34ページ）
- （4）一般選抜の小論文、面接の内容（出題方針）等（34ページ）
- （5）医学部医学科の前期日程・後期日程において2段階選抜を行うことがあります。（25ページ）
教育学部・医学部看護学科・工学部・国際地域学部では2段階選抜は行いません。

なお、本学が課す大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目を、一部でも受験していない場合は失格となります。

(1) 入学者選抜方法等（教科・科目に係る個別テスト等）

〔教育学部〕

学部・課程・コース等						選抜方法等		教科・科目に係る個別テスト等										教科・科目に係る個別テスト等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
								実技検査等					調査書等		2段階選抜					
								教科・科目に係る個別テストを課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書	本人の記載する資料	大学入学共通テストにより第1段階選抜を行い、合格者について必要等を行う	学業成績第1段階選抜の合格者数	第1段階の選抜による合格者数			
																	定員に対する倍率			その他
選抜区分																				
教育学部	前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	文系型	初等教育コース	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	令和8年 2月25日(水)	欠員補充の方法 1. 追加合格により補充します。 2. 追加合格によってもなお欠員が生じた課程がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。		
					中等教育コース	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×				
				理系型	初等教育コース	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×			×	
					中等教育コース	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×			×	
				実技型（音楽）	初等教育コース	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×			×	
					中等教育コース	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×			×	
				実技型（体育）	初等教育コース	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×			×	
					中等教育コース	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×			×	
	後期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	統合型	初等教育コース	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	令和8年 3月12日(木)			
					中等教育コース	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×				

注 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

〔医学部〕

選抜方法等 		
---	--	--

注 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

〔工学部〕

選抜方法等 		
---	--	--

注 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

〔国際地域学部〕

選抜方法等 <		
--	--	--

注 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

【教育学部】

前期日程 2月25日

28

学部・課程・コース名			大学入学共通テストの利用教科・科目名等			教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等													備考							
選 抜 区 分			教科			科 目 名 等			教科等	科 目 名 等			試験の区分			数 学			実 技 等			調査書等		配点 合計					
			国	地歴	公民	国語	歴史総合、地理探究」	「歴史総合、日本史探究」	「歴史総合/歴史総合/公共」	から1	調査書	「小論文」	共通テスト	国語	地理 歴史	公民	①	②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の選定 する資料		
教 育 学 部	学校教育課程 初等教育コース (9)	統合型	数①	数②	数③	「数学Ⅰ、数学A」	「数学B、数学C」	「数学Ⅱ、化学」	「生物」	「地学」	から2	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100							1000	
			理	理	理	「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「物理」	「化学」	「生物」	「地学」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						400
			外	外	外	「英語Ⅰ」	「ドイツ語」	「フランス語」	「中国語」	「韓国語」	「情報Ⅰ」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						400	
			情	情	情	「英語Ⅱ」	「ドイツ語Ⅱ」	「フランス語Ⅱ」	「中国語Ⅱ」	「韓国語Ⅱ」	「情報Ⅱ」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						400	
			国	地歴	公民	国語	歴史総合、地理探究」	「歴史総合、日本史探究」	「歴史総合/歴史総合/公共」	から2	調査書	「小論文」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100							1400		
			数①	数②	数③	「数学Ⅰ、数学A」	「数学B、数学C」	「数学Ⅱ、化学」	「生物」	「地学」	から2	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						1000		
			理	理	理	「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「物理」	「化学」	「生物」	「地学」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100					400	
			外	外	外	「英語Ⅰ」	「ドイツ語」	「フランス語」	「中国語」	「韓国語」	「情報Ⅰ」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						1400	
			情	情	情	「英語Ⅱ」	「ドイツ語Ⅱ」	「フランス語Ⅱ」	「中国語Ⅱ」	「韓国語Ⅱ」	「情報Ⅱ」	から1	調査書	「調査書」	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100						400	

注意（前期日程・後期日程共通）

- 【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄
 - 「地理歴史」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。
・「公共、倫理」と「公民、政治・経済」の組合せを選択することはできません。
・「地理総合/歴史総合/公共」を選択した場合は、選択解題した出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
 - 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
 - (★印)実技型(音楽)、実技型(体育)及び統合型の選抜区分において、受験者が、指定する教科・科目の組合せのどちらの場合も満たす場合には、高得点となる組合せを採用します。
 - 『英語』は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、『英語』のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

- ＊印は選択を示します。
- 「100/＊400」は、教科・科目に係る個別テストでその教科を選択しなかった場合は大学入学共通テストのみの点数100点、選択した場合は、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの点数で合計400点と示します。
- 実技型小論文の配点○は、実技の配点に含まれます。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等】欄

- 数学の出題範囲のうち、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」は全範囲とします。「数学A」は「図形の性質」及び「場合の数と確率」、「数学B」は「数列」及び統計的な推測、「数学C」は「ベクトル」及び「平面と曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

【医学部】

前期日程 2月25日、26日（医学科のみ）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等			教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										備考				
学科	教科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情報	実技	面談	小論文	その他	調査書等 ※自己採点 する課程	配点 合計	
		①		②																		
医 学 科 前期(5)	国語	『国語』	『歴史総合、日本史探究』		数 理 外 実技等 調査書等	『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C』	共通テスト	200	100	100	100	200	200	100							1000	
	地理	『地理総合、地理探究』	『歴史総合、世界史探究』			『物理基礎・物理』																
	公民	『公民、倫理』	『公民・政治・経済』			『化学基礎・化学』																
	数①	『数学Ⅰ、数学A』	『数学B、数学C』			『生物基礎・生物』																
	数②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』									200	200	200						○		700	
	理 外 情	『物理』、 『英語』、 『化学』、 『生物』 『情報Ⅰ』	から 2																			
						『面接』 『調査書』 ※調査書は面接の際に活用します		200	100	400	400	100	400	100							1700	
看護学 科 前期(30)	国語	『国語』	『歴史総合、日本史探究』		実技等 調査書等	『小論文』 『面接』	共通テスト	200	100	50	50	100	200	50							750	
	地理	『地理総合、地理探究』	『歴史総合、世界史探究』			『物理基礎・物理』																
	公民	『公民、倫理』	『公民・政治・経済』			『化学基礎・化学』																
	数①	『数学Ⅰ、数学A』	『数学B、数学C』			『生物基礎・生物』																
	数②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』									200	200	200						○		250	
	理 外 情	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』、 『英語』、 『化学』、 『生物』 『情報Ⅰ』	から 1																		1000	

後期日程 3月12日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				教科・科目名等				大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										備考	
学科	教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書等	配点 合計	
		①	②																		
医 学 科	国語	『国語』		実技等	『小論文』 『面接』	共通テスト	100	50	50	50	100	100	50							500	
	地理	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公民、倫理』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公民、政治・経済』		調査書等	『調査書』 ※調査書は面接の際に活用します	教科・科目 に係る個別 テスト等										120	100	○		220	
	公民	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学Ⅳ、 数学Ⅴ』																			
	物理 外 情	『物理』、 『化学』、 『生物』 『情報Ⅰ』				計	100	50	50	50	100	100	50			120	100			720	
看護学 科	国語	『国語』		実技等	『面接』	共通テスト	200	100	50	50	100	200	50							750	
	地理	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『地理総合／歴史総合／公共』		調査書等	『調査書』 ※調査書は面接の際に活用します	教科・科目 に係る個別 テスト等										200		○		200	
	公民	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学Ⅳ、 数学Ⅴ』																			
	物理 外 情	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』（地学基礎は選択不可）、 『物理』、 『化学』、 『生物』 『情報Ⅰ』				計	200	100	50	50	100	200	50			200				950	

注意（前期日程・後期日程共通）

医学部医学科においては、志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合、後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】

- 「国語」：『国語』
- 「地理」：『公民』及び看護学科の「理」において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となり必ず十分注意してください。
- 「物理基礎・物理」：『物理基礎』
- 「化学基礎・化学」：『化学基礎』
- 「生物基礎・生物」：『生物基礎』
- 「英語」：『英語』

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目等】

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」：『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数A』、『数B』、『数C』
- 「物理基礎・物理」：『物理基礎』
- 「化学基礎・化学」：『化学基礎』
- 「生物基礎・生物」：『生物基礎』
- 「英語」：『英語』

【國際地域学部】

前期日程 2月25日

[illegible]

後期日程 3月12日

[illegible]

主意 (前期日程・後期日程共通)

- 【本学入学者共通テストの利用教科・科目名】
 ○受験することになった教科・科目において、指定された教科・科目数を超えている場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
 ○地理歴史及び公民・科目において、2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。
 ・『公共、倫理』及び『公共・経済』の組合せは選択することはできません。
 ・『地理歴史・歴史総合・公共・経済』の組合せは選択することはできません。
 ・『地理歴史・歴史総合・公共』を選択する場合は、選択科目と同一名称を含む科目の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
 ○『地理歴史』及び『公民』並びに『理科』の科目において、本学が1科目を専門1場合の2科目受験者の成績の活用は、第1解答科目の得点を採用します。
 ○後期1回の数学の成績を用いるのに、数学及び数学2の両方とも受験している必要がない。
 ○『基礎』は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除する。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

- ＊印は選択を示します。
- ＊200＊500は、教科・科目に係る個別アセスの点数で合計500点となることを示します。

【国際地域学部における英語外部試験の活用】

- 英語学部試験の成績を活用し、TOEFL iBTが100点以上の者は、大学入学生活テストの「英語」の得点を満点(200点)とし、出版書類と共に証明書を提出して下さい。ただし、英外部試験の成績を提出する場合であっても、大学入学生活テストにおける「英語」を受験する必要があります。
- ※ 英語学部試験を活用する場合は令和6(2024)年4月以降に受験した成績証明書を提出してください。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等】欄

- 数学の出題範囲のうち、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」は全範囲とします。「数学A」は、「図形の性質」及び「場合の数と確率」、「数学B」は、「数列」及び「統計的な推測」、「数学C」は、「ベクトル」を出題範囲とします。

(3) 一般選抜の実技検査内容（教育学部学校教育課程）

日程	コース・選抜区分		実技検査の内容等
前期日程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(音楽)	実 技 1. ピアノ実技 2. 次の2つからどちらかを選択する。 ①声楽実技 ②管弦打楽器実技（オーケストラ、吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は、問い合わせをしてください。）
後期日程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(体育)	実 技 1. 基礎的運動能力に関する課題（スポーツ庁新体力テストに準ずる課題） 2. スポーツスキルに関する基礎的課題 注：イ. スポーツウェアと屋内シューズを用意してください。 ロ. 必要に応じて、飲み物、汗ふきタオル等を用意してください。 ハ. 必要な用具は本学で準備します。

(4) 一般選抜の小論文、面接の内容（出題方針）等

学部	日程	課程・コース、選抜区分、学科等			区分	小論文、面接の内容（出題方針）等
教育学部	前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(音楽)	実技型小論文	音楽や音楽の演奏に関わる技術や知識についての課題を提示し、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
					面接	個人面接 音楽や音楽教育に関しての興味、意欲等 音楽に関する基礎的な知識 これまでの学習歴（音楽実技を中心に）について
		後期日程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(体育)	実技型小論文	保健体育・スポーツに関する文化、技術、社会に関わる課題を提示し、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
			初等教育コース・中等教育コース	統合型	小論文	教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を提示して論述させ、論理的思考力、表現力を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
医学部	前期日程	医学科			面接	個人面接により人間性、自主性、思考力、表現力、責任感など医学科学生としての適性、能力を評価します。
		看護学科			小論文	国際・地域の諸課題を提示し、課題の理解力、論理の構成力、文章表現力等を総合的に評価します。
					面接	個人面接により看護・社会に関心を持ち、看護学を学ぶ積極性、表現力等、看護学生としての適性や能力等に加え、地域医療に対する意欲についても評価します。
	後期日程	医学科			小論文	課題(和文、英文の両方又はいずれかで出題されます)の理解力、論理の構成力、文章表現力等を評価します。
					面接	個人面接により人間性、自主性、思考力、表現力、責任感など医学科学生としての適性、能力を評価します。
		看護学科			面接	個人面接により看護に関心を持ち、看護学を学ぶ意欲及び積極性、表現力、一般的態度等を評価します。
工学部	後期日程	物質・生命化学科			面接	基礎学力及び人物的に優れている人を求めます。 学習意欲、チャレンジ精神、論理性等を面接試験で判断し、学力と人物の総合判定を行います（口頭試問を含む）。
国際地域学部	後期日程	国際地域学科			小論文	国際・地域社会に関わる諸課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を評価します。資料や文献を用いることもあります。
					面接	個人面接により国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

3. 出願期間, 教科・科目に係る個別テスト等の日程及び合格者発表

(1) 出願期間

令和8年1月26日(月)から2月4日(水)まで(必着)

(2) 教科・科目に係る個別テスト等の日程

日 程		学部・学科・選抜区分		試 験 教 科 ・ 科 目 等	試験時間
前期 日程	2月25日(水)	教育学部	文系型	国語(100分)	12:20～14:00
				外国語(英語)(100分)	14:50～16:30
			理系型	数学(110分)	9:20～11:10
				国語(100分)	(出願時に選択) 12:20～14:00
				外国語(英語)(100分)	
			実技型(音楽)	実技・面接・実技型小論文	9:20～
			実技型(体育)	実技・実技型小論文	9:20～
		医学部	医 学 科	数学(110分)	9:20～11:10
				理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物)(120分) (試験時に2科目を選択)	12:20～14:20
				外国語(英語)(110分)	15:10～17:00
			看護学科	小論文(90分)	9:20～10:50
				面接	12:20～
		工学部	全 学 科	数学(110分)	9:20～11:10
			機械・システム工学科	理科(物理基礎・物理)(110分)	12:20～14:10
			電気電子情報工学科		
			応用物理学科		
			建築・都市環境工学科	理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学)(110分) (試験時に1科目を選択)	12:20～14:10
			物質・生命化学科		
		国際地域学部	国際地域学科	数学(110分)	(出願時に選択) 9:20～11:10
				国語(100分)	
				外国語(英語)(100分)	14:50～16:30
	2月26日(木)	医学部	医 学 科	面接	9:30～
後期 日程	3月12日(木)	教育学部	総合型	小論文(120分)	9:30～11:30
		医学部	医 学 科	小論文(90分)	9:30～11:00
				面接	13:00～
			看護学科	面接	9:30～
		工学部	機械・システム工学科	数学(110分)	9:30～11:20
			電気電子情報工学科		
			建築・都市環境工学科		
			応用物理学科		
			物質・生命化学科	面接	9:30～
		国際地域学部	国際地域学科	小論文(120分)	9:30～11:30
				面接	13:00～

(3) 合格者発表

前期日程 令和8年3月6日(金)

後期日程 令和8年3月20日(金・祝)

4. 欠員補充

入学定員に欠員が生じた場合は、本学教科・科目に係る個別テスト等（前期日程・後期日程）を受験し合格者とならなかった者の中から追加合格により補充します。

また、追加合格によってもなお入学定員に欠員が生じた場合には、新たに欠員補充第2次募集を行うことがあります。

5. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和8年1月13日（火）までに本学学務部入試課または松岡キャンパス学務課に事前相談の申請をしてください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに電話等により相談してください。

(1) 相談の方法

申請書、医師の診断書等を提出することとし、相談が必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

事前相談の申請方法等については、本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の障がいのある入学志願者等の事前相談から確認してください。

(2) 連絡先

福井大学学務部入試課（教育学部，工学部，国際地域学部）

〒910-8507 福井市文京3-9-1 電話 0776-27-9927

福井大学学務部松岡キャンパス学務課（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月2-3-3 電話 0776-61-8830

6. 入学資格審査を要する者の事前相談

本学に出願を希望する者で、本学において個別の入学資格審査による認定を要する者（一般選抜の出願資格（3）の⑦該当者）は、出願の前に、次により相談してください。

(1) 相談の時期 令和7年8月1日（金）～8月29日（金）

他大学で入学資格認定を受けた者で、大学入学共通テストの出願後に本学の入学資格審査を希望する場合は、教科・科目に係る個別テスト出願受付開始日の5日前までとします。

個別の入学資格審査の詳細については、本学のホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の入学資格審査を参照してください。

(2) 連絡先 福井大学学務部入試課 〒910-8507 福井市文京3-9-1 電話 0776-27-9927

7. 入学試験個人成績の開示

本学では、一般選抜について、インターネット出願時に成績開示を希望した受験者は、入学試験個人成績を閲覧することができます。詳細については、令和7年11月公表予定の令和8年度一般選抜学生募集要項にて確認してください。

ただし、教科・科目に係る個別テスト等を一部でも受験していない者及び医学部医学科第1段階選抜不合格者については開示を行いません。

成績開示期間 令和8年5月11日（月）～6月30日（火）

個人成績開示システム <https://exam-entry.52school.com/u-fukui/disclosure>

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入学試験の個人成績開示】



＜個人成績開示システム＞

Ⅳ 学校推薦型選抜

1. 入学者選抜方法等

学部・課程・コース・学科等					学 校 推 薦 型 選 抜										備 考
					入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する										
					大学入学共通テスト	教科・科目に係る個別テスト	実 技 検 査 等					調査書等			
							実技検査	面接	小論文	外国語におけるリスニングテスト	その他	調査書	推薦書（注5）	本人の記載する資料（注6）	
選抜区分															
教育学部	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	高大接続型（嶺南地域枠）	初等教育コース	×	×	×	○	×	×	○（注3）	○	○	○	
				中等教育コース	×	×	×	○	×	×	○	○	○（注7）		
			実技型（技術）	中等教育コース	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○（注7）	
			実技型（音楽）	中等教育コース	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○（注7）	
			面接型（総合）	初等教育コース	○	×	×	○	×	×	○（注4）	○	○	○（注7）	
				中等教育コース	○	×	×	○	×	×	○（注4）	○	○	○（注7）	
			面接型（特別支援）	初等教育コース	○	×	×	○	×	×	○（注4）	○	○	○（注7）	
			面接型（家庭）	初等教育コース	○	×	×	○	×	×	○（注4）	○	○	○（注7）	
				中等教育コース											
医学部	医学科				○	×	×	○	×	×	○	○	○		
	看護学科				×	×	×	○	○	×	○	○	○		
工学部	機械・システム工学科				×	×	×	○	×	×	○（注4）	○	○	○	
	電気電子情報工学科				×	×	×	○（注2）	×	×	×	○	○	○	
	建築・都市環境工学科				×	×	×	○（注2）	×	×	○（注4）	○	○	○	
	物質・生命化学科				×	×	×	○（注2）	×	×	×	○	○	○	
国際地域学部	国際地域学科				○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	

注 1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

2. 面接には口頭試問を含みます。

3. 教育学部の高大接続型（嶺南地域枠）の「実技検査等」のうち、「その他」の○印は、プレゼンテーション及び集団討論です。

4. 教育学部（面接型（総合・特別支援・家庭））及び工学部機械・システム工学科、建築・都市環境工学科の「実技検査等」のうち、「その他」の○印は、プレゼンテーションです。

5. 推薦書について、志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際、志願者の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。

6. 「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書です。教育学部の高大接続型（嶺南地域枠）においては、志願理由書の他に、高校時代の取り組みや活動を説明する資料を課します。また、工学部建築・都市環境工学科においては、志願理由書のほかに、取り組みと成果に関するレポートを課します。

7. 教育学部での、「本人の記載する資料」として、志願理由書の他、高大連携に関連した行事やイベントに参加した時の学びの形跡がわかる資料がある場合には、資料の一部として提出してもかまいません。

2. 学校推薦型選抜の選抜方法

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（高大接続型（嶺南地域枠））
募 集 人 員	10人（初等教育コース 6人，中等教育コース 4人）
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和8年3月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況は4.3以上が望ましい） (3) 嶺南地域の教員となることを強く希望する者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し，下記(1)～(3)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点非公表） (1) 学校長の推薦書，調査書，志願者本人の志願理由書及び高校時代の取り組みや活動を説明する資料 (2) 個人面接（プレゼンテーションを含む。） (3) 集団討論
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和7年12月1日（月）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和8年度教育学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（9月下旬発表予定）によります。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 中等教育コース（実技型（技術））
募 集 人 員	2 人
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第 3 学年を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和 8 年 3 月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況は3.5以上が望ましい） (3) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点非公表） (1) 学校長の推薦書，調査書及び志願者本人の志願理由書 (2) 実技検査，個人面接，実技型小論文による選考
出 願 期 間	令和 7 年11月 4 日（火）～ 7 日（金）
選 抜 期 日	令和 7 年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和 7 年12月 1 日（月）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は，1 校につき原則として 2 人以内とします。 詳細は，「令和 8 年度教育学部学校推薦型選抜 I 学生募集要項」（9 月下旬発表予定）によります。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 中等教育コース（実技型（音楽））
募 集 人 員	2 人
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第 3 学年を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和 8 年 3 月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上） (3) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点非公表） (1) 学校長の推薦書，調査書及び志願者本人の志願理由書 (2) 実技検査（下記のア及びイ），個人面接による選考 ○実技検査 ア．新曲視唱 イ．選択課題（出願時に A 群①，A 群②，B 群，C 群のいずれか 1 つを選択する。） A 群① ピアノを主とし，声楽を副とする。 A 群② ピアノを主とし，管弦打楽器を副とする。 B 群 声楽を主とし，ピアノを副とする。 C 群 管弦打楽器を主とし，ピアノを副とする。（オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は問い合わせをしてください。）
出 願 期 間	令和 7 年 11 月 4 日（火）～ 7 日（金）
選 抜 期 日	令和 7 年 11 月 15 日（土）
合 格 発 表 日	令和 7 年 12 月 1 日（月）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は 1 校につき 2 人以内とします。 詳細は，「令和 8 年度教育学部学校推薦型選抜 I 学生募集要項」（9 月下旬発表予定）によります。

(医学部)

実施学部・学科	医学部 看護学科
募集人員	25人
出願資格 及び 推薦要件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の生徒のうち、人物、学力ともに優秀であると学校長が責任をもって推薦できる者 (2) 特に、看護学の勉学を強く希望し、将来はその専門分野における実践・指導に携わることを決意している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計300点） (1) 学校長の推薦書、調査書及び志願者本人の志願理由書 ※点数化しませんが、面接の際に活用します (2) 小論文（200点）、面接（100点）による選考
出願期間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選抜期日	令和7年11月15日（土）
合格発表日	令和7年12月3日（水）
その他	各高等学校等から推薦できる人数は、1校につき10人以内とします。 詳細は、「令和8年度医学部学校推薦型選抜Ⅰ（看護学科）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(工学部)

実施学部・学科	工学部 機械・システム工学科（高大接続型）
募 集 人 員	20人（女子特別枠 10人程度含む）
出 願 資 格 及 推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適正等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 なお、女子特別枠については、(1)～(3)に該当する女子
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)～(3)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計500点） (1) 学校長の推薦書（点数化しませんが、評価します）、調査書（120点）及び志願者本人の志願理由書（80点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（100点） (3) プレゼンテーション（200点） プレゼンテーションでは、試験時に渡された資料をもとに、提示されたテーマに対する発表資料を手書きで作成の上、その手書き資料を用いながら口頭で発表してもらいます。引き続き、口頭発表の内容に関する質疑応答を行います。
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和7年12月3日（水）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は、「令和8年度工学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注．高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科
募 集 人 員	10人
出 願 資 格 及 び 推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適正等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計390点） (1) 学校長の推薦書，調査書及び志願者本人の志願理由書（各30点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口頭試問を含む）（300点）
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和7年12月3日（水）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和8年度工学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注．高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科（専門系学科枠）
募 集 人 員	若干名
出 願 資 格 及び 推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校の「工業に関する学科」，「農業に関する学科」，「情報に関する学科」，「商業に関する学科」，「水産に関する学科」，「総合学科」を令和８年３月に卒業見込みの者で，次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が，本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し，下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計390点） (1) 学校長の推薦書，調査書及び志願者本人の志願理由書（各30点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口頭試問を含む）（300点）
出 願 期 間	令和７年11月４日（火）～７日（金）
選 抜 期 日	令和７年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和７年12月３日（水）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和８年度工学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（８月下旬発表予定）によります。

注１．高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

- ２．「総合学科」，「専門系学科以外」の者の出願資格は，「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」、及び「水産」に関する教科・科目を20単位以上取得見込みの者（「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」、及び「水産」に関する教科・科目を合わせて20単位以上取得見込みの者も含む）

実施学部・学科	工学部 建築・都市環境工学科（専門系学科枠）（高大接続型）
募 集 人 員	3 人
出 願 資 格 及び 推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校の「工業に関する学科」，「農業に関する学科」，「情報に関する学科」，「商業に関する学科」，「水産に関する学科」，「総合学科」を令和 8 年 3 月に卒業見込みの者で，次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が，本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し，下記(1)～(3)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計470点） (1) 学校長の推薦書（点数化しませんが，評価します），調査書（40点）及び志願者本人の志願理由書（30点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口頭試問を含む）（200点） (3) プレゼンテーション（200点） プレゼンテーションでは，出願時に提出された高校での取り組みと成果に関するレポートについて口頭発表してもらいます。なお口頭発表は，パソコンの使用，必要な資料の持ち込みを可とします。引き続き，プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた面接を行います。
出 願 期 間	令和 7 年11月 4 日（火）～ 7 日（金）
選 抜 期 日	令和 7 年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和 7 年12月 3 日（水）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和 8 年度工学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（8 月下旬発表予定）によります。

注 1. 高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2. 「総合学科」，「専門系学科以外」の者の出願資格は，「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」、及び「水産」に関する教科・科目を20単位以上取得見込みの者（「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」、及び「水産」に関する教科・科目を合わせて20単位以上取得見込みの者も含む）

実施学部・学科	工学部 物質・生命化学科（高大接続型）
募 集 人 員	10人
出 願 資 格 及 び 推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適正等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計390点） (1) 学校長の推薦書、調査書及び志願者本人の志願理由書（各30点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口頭試問を含む）（300点）
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和7年12月3日（水）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は、「令和8年度工学部学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注．高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（面接型（総合））
募 集 人 員	14人（初等教育コース 10人，中等教育コース 4人）
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和8年3月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上） (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，個人面接（プレゼンテーションを含む。），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，53ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年12月15日（月）～19日（金）
選 抜 期 日	令和8年1月31日（土）
合 格 発 表 日	令和8年2月10日（火）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和8年度教育学部学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項」（9月下旬発表予定）によります。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース（面接型（特別支援））
募 集 人 員	5 人
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第 3 学年を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和 8 年 3 月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 本学が指定する令和 8 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上） (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，個人面接（プレゼンテーションを含む。），調査書，推薦書及び志願理由書等を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，53 ページを参照してください。
出 願 期 間	令和 7 年 12 月 15 日（月）～19 日（金）
選 抜 期 日	令和 8 年 1 月 31 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 2 月 10 日（火）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和 8 年度教育学部学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項」（9 月下旬発表予定）によります。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（面接型（家庭））
募 集 人 員	3 人（初等教育コース 1 人，中等教育コース 2 人）
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第 3 学年を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和 8 年 3 月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 本学が指定する令和 8 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上） (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，個人面接（プレゼンテーションを含む。），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，53 ページを参照してください。
出 願 期 間	令和 7 年 12 月 15 日（月）～19 日（金）
選 抜 期 日	令和 8 年 1 月 31 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 2 月 10 日（火）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和 8 年度教育学部学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項」（9 月下旬発表予定）によります。

（医学部）

実施学部・学科	医学部 医学科 （全国枠・地元出身者枠・地域枠（福井健康推進枠））	
募集人員	20人（うち地元出身者枠10人，地域枠（福井健康推進枠）5人程度を含む） ※上記人員20名とは別に，臨時定員（10人上限）延長申請中であり，認可後には「地域枠（福井健康推進枠）」にて募集予定である。	
推薦要件	本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者で，次の要件に該当し，出身学校長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者	
	全国枠	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者で，かつ，次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校における学習成績概評がAに属する生徒のうち，人物，学力ともに優秀である者 (2) 本学志願の動機が明確であり，将来医師及び医学研究者として，地域医療や医学の進展に貢献する意欲が旺盛な者 (3) スポーツ・文化活動やボランティア活動等を通して，充実した高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校生活を送っている者 (4) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校において，物理，化学，生物(理数科にあつては，理数物理，理数化学，理数生物)のうち2科目以上履修した（見込みを含む）者
	地元出身者枠	①『福井県内』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者 ②『福井県以外』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者のうち，保護者が令和5年4月1日時点（それ以前も含む）から出願時までの全期間に，福井県内に在住している者 ①②いずれとも上記「全国枠」(1)～(4)の条件を満たし，かつ，卒業後は，直ちに福井大学医学部附属病院で，連続した3年間の研修（臨床研修および専門研修）に従事し，福井県内において医師となる強い意志を有する者 注：臨床研修において，本学医学部附属病院との組み合わせであれば，協力病院での研修も可能です。
	地域枠（福井健康推進枠） （注）当該枠については臨時定員（10人上限）延長申請中である。	①『福井県内』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者 ②『福井県以外』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者のうち，保護者が令和5年4月1日時点（それ以前も含む）から出願時までの全期間に，福井県内に在住している者 ③『福井県以外』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者又は令和7年3月以降に卒業した者 ①②③いずれとも上記「全国枠」(1)～(4)の条件を満たし，かつ，医師免許を取得し，福井県内において卒後臨床研修を終えた後，引き続き福井県内において地域医療に従事する強い意志を有する者であつて，その意志を記載した書面（奨学金受給意向調査書）を福井県に対して提出した者

	※上記，地域枠（福井健康推進枠）は福井県からの奨学金貸与の関係上，合格者のうち5名以上を要件①，②に該当する者としします。
選 抜 方 法 等	(1) 大学入学共通テストの成績により，募集人員の約3倍の第1次選考合格者を決定します。 (2) 第1次選考合格者に対し，面接及び提出された推薦書，調査書，志願理由書による選考を行い，第1次選考結果と総合して最終選考合格者を決定します。 (3) 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，54ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年12月15日（月）～19日（金）
選 抜 期 日 （最終選考）	令和8年2月9日（月）
合 格 発 表 日 （最終選考）	令和8年2月10日（火）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は，特に制限しません。 詳細は，「令和8年度医学部学校推薦型選抜Ⅱ（医学科）学生募集要項」（11月上旬発表予定）によります。

注1．高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2．医学科の学校推薦型選抜Ⅱにおいては下記の表（参考）のとおり併願ができます。

3．「地域枠(福井健康推進枠)」の志願者には，福井県から奨学金受給意向調査書および福井県キャリア形成卒前支援プラン等適用同意書受理証が交付されます。

4．「地域枠(福井健康推進枠)」の入学者には，福井県から奨学金が貸与されます。

5．福井県が実施する奨学金制度の概要及び奨学金受給意向調査書に関しては，福井県ホームページ(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/iryou/iryojyujisya/syogakukinseido.html> 又は「福井県医師確保修学資金」でキーワード検索)を参照してください。

(参考)

出身高校	出願区分			備 考
	全国枠	地元出身者枠	地域枠(福井健康推進枠)	
福井県内 (※)	○	○	○	すべての出願区分の併願が可能です。
上記以外	○	×	○	全国枠と地域枠(福井健康推進枠)の併願が可能です。

※表中の「出身高校 福井県内 (※)」には50ページの「推薦要件 地元出身者枠②及び地域枠(福井健康推進枠)②」の条件を満たす者を含みます。

（国際地域学部）

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科
募 集 人 員	10人
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和8年3月に修了見込みの者
推 薦 要 件	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本学部の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 学業成績が優秀な者（調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上） (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，面接（個人面接），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，55ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年12月15日（月）～19日（金）
選 抜 期 日	令和8年1月31日（土）
合 格 発 表 日	令和8年2月10日（火）
そ の 他	各高等学校等から推薦できる人数は，1校につき3人以内とします。 詳細は，「令和8年度国際地域学部学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項」（9月下旬発表予定）によります。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目、配点等（学校推薦型選抜Ⅱ）

【教育学部】

学校推薦型選抜Ⅱ 1月31日

[illegible]

注意 (学校推薦型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 受験者が、指定する教科・科目の組合せのどちらの場合も満たす場合には、高得点となる組合せを採用します。
- 「地理歴史」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。
- 『公民、倫理』と『公民、政治・経済』の組合せを選択することはありません。
- 「地理歴史／歴史総合／公民」を選択した科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」の科目において、本学が1科目受験者の成績の利用は、第1専修科目の得点を採用します。
- 『英語』は、リーディングの得点(100点満点)を50点に、ライティングの得点(200点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、ライティングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等			小論文・面接・実技検査等			大学入学共通テスト・小論文・面接・実技検査等の配点等												備考																																																																																																																																																																																																																																																									
国際地域学科	国際地域学部	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分				教科				実技等				調査書等				配点合計																																																																																																																																																																																																																																																							
		国 地 歴 公民 数① 数② 理 外 情	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②		国語 地理 歴史 公民 ① ②		国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②	国語 地理 歴史 公民 ① ②

注意（学校推薦型選抜Ⅱ）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】
○ 「地理歴史」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。
・『公共，倫理』『公共，政治・経済』
・『地理総合／歴史総合／公民』を選択した場合は、選択解いた出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
○ 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において、本学が1科目を受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
○ 『英語』は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、『英語』のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【国際地域学部における英語外部試験の活用】
○ 英語外部試験の成績を活用し、TOEFL iBTが100点以上の者は、大学入学共通テストの『英語』の得点を満点（200点）とし、出願書類と共に証明書を提出してください。ただし、英語外部試験の成績を提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。
※英語外部試験を活用する場合は令和6(2024)年4月以降に受験した成績証明書を提出してください。

V 総合型選抜

1. 入学者選抜方法等

学部・課程・コース・学科等					選抜方法等		総 合 型 選 抜							備 考
							入学定員の一部について、学力検査を免除し、面接、出願書類等を主な資料として判定する							
					大学入学共通テスト	教科・科目に係る個別テスト	実 技 検 査 等					調査書等		
							実技検査	面接	小論文	外国語におけるリスニングテスト	その他	調査書	本人の記載する資料	
選抜区分														
教育学部	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(美術)	初等教育コース 中等教育コース	×	×	○	○	×	×	○ (注4)	○	○ (注5)	
工学部	機械・システム工学科				○	×	×	○	×	×	×	○	○ (注6)	
	電気電子情報工学科				○	×	×	○ (注3)	×	×	×	○	○ (注6)	
	建築・都市環境工学科				○	×	×	○ (注3)	×	×	×	○	○ (注6)	
	物質・生命化学科				○	×	×	○ (注3)	×	×	×	○	○ (注6)	
	応用物理学科				○	×	×	○	×	×	×	○	○ (注6)	
国際地域学部	国際地域学科				×	×	×	○	×	×	○ (注4)	○	○ (注7)	

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

2. 総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。

3. 面接には口頭試問を含みます。

4. 教育学部、国際地域学部の「実技検査等」のうち、「その他」の○印は、プレゼンテーションです。

5. 教育学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書、自己推薦書及び取り組みと成果に関するレポートです。

6. 工学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書及び自己推薦書です。

7. 国際地域学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書及び取り組みと成果に関するレポートです。

2. 総合型選抜の選抜方法

(1) 総合型選抜Ⅰ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（実技型（美術））
募 集 人 員	3人（初等教育コース 1人，中等教育コース 2人）
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定 により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8 年3月31日までにこれに該当する見込みの者
出 願 要 件	出願するコースでの勉学を強く希望するとともに，合格した場合は入学を確約できる 者
選 抜 方 法 等	提出された調査書，志願理由書及び自己推薦書に基づき，基礎的学力に加え，思考 力・判断力・表現力など，受験生の幅広い学力を多面的に評価します。 実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接では，教育の諸課題に主体 的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。 プレゼンテーション課題（高校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品 資料等をもとに，筆記によりプレゼンテーション資料を作成した上で，口頭発表）で は，取り組みの内容と文章力及びプレゼンテーション能力等を評価します。
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～7日（金）
選 抜 期 日	令和7年11月15日（土）
合 格 発 表 日	令和7年12月1日（月）
そ の 他	詳細は，「令和8年度教育学部総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）学生募集要項」 （8月下旬発表予定）によります。

(国際地域学部)

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科
募 集 人 員	8 人
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第 3 学年を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第 1 号から第 5 号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 8 年 3 月31日までにこれに該当する見込みの者
出 願 要 件	出願する学部での勉学を強く希望するとともに、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第 1 次選考) 調査書，志願理由書，高等学校等での取り組みやその成果に関するレポート（取り組みを証明する資料を添付してください。）を総合的に評価し，第 1 次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第 1 次選考合格者に対して，取り組みに対するプレゼンテーション及び面接を行います。プレゼンテーションでは，第 1 次選考時に提出された高校での取り組みに関するレポートの内容の口頭発表を行います。さらに，プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた面接を行い，第 1 次選考及び最終選考の結果を総合的に評価して合格者を決定します。
出 願 期 間	令和 7 年10月14日（火）～20日（月）
選 抜 期 日	第 1 次選考 令和 7 年11月上旬（書類選考） 最終選考 令和 7 年11月22日（土）
合 格 発 表 日	第 1 次選考 令和 7 年11月12日（水） 最終選考 令和 7 年12月 2 日（火）
そ の 他	詳細は，「令和 8 年度国際地域学部総合型選抜 I（高大接続型入試）学生募集要項」（8 月下旬発表予定）によります。

(2) 総合型選抜Ⅱ

(工学部)

実施学部・学科	工学部 機械・システム工学科
募集人員	30人 $\left(\begin{array}{l} \text{女子特別枠 15人程度} \\ \text{特別枠：原子力安全工学コース 5人程度 含む} \end{array} \right)$
出願要件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者 なお、各枠については、上記に加え下記の要件を満たす者 ・女子特別枠については、(1)～(3)に該当する女子 ・特別枠：原子力安全工学コースについては、(1)～(3)に加え、原子力安全工学に関する勉学を強く希望し、入学後は原子力安全工学コースで学ぶことを確約できる者
選抜方法等	(第1次選考) 志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接を行い、その結果と大学入学共通テストの成績、提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名、配点等については、65ページを参照してください。
出願期間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選抜期日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合格発表日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
その他	詳細は、「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科
募 集 人 員	15人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口頭試問を含む）を行い、その結果と大学入学共通テストの成績を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名、配点等については、65ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
そ の 他	詳細は、「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科（専門系学科枠）
募 集 人 員	若干名
出 願 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校の「工業に関する学科」，「農業に関する学科」，「情報に関する学科」，「商業に関する学科」，「水産に関する学科」，「総合学科」を令和8年3月に卒業見込みの者で，次の要件をすべて満たす者 (1) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (2) 出願する学科での勉学を強く希望し，合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口頭試問を含む）を行い，その結果と大学入学共通テストの成績を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，65ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
そ の 他	詳細は，「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注1．高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

- 2．「総合学科」，「専門系学科以外」の者の出願資格は，「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」，及び「水産」に関する教科・科目を20単位以上取得見込みの者（「工業」又は「農業」又は「情報」又は「商業」，及び「水産」に関する教科・科目を合わせて20単位以上取得見込みの者も含む）

実施学部・学科	工学部 建築・都市環境工学科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口頭試問を含む）を行い、その結果と大学入学共通テストの成績、提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名、配点等については、65ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
そ の 他	詳細は、「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 物質・生命化学科
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口頭試問を含む）を行い、その結果と大学入学共通テストの成績、提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 面接（口頭試問を含む）では、出願時に提出した自己推薦書の中で受験者が特にPRしたい内容を中心とした質疑応答により、学習意欲、チャレンジ精神、論理性等を評価し、総合判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名、配点等については、65ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
そ の 他	詳細は、「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 応用物理学科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接を行い，その結果と大学入学共通テストの成績，提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名，配点等については，65ページを参照してください。
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和7年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和7年12月13日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和7年12月3日（水） 最終選考 令和8年2月10日（火）
そ の 他	詳細は，「令和8年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目、配点等 (総合型選抜Ⅱ)

【工学部】

総合型選抜Ⅱ (1次：書類選考、最終：12月13日)

【令和8年度】

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				小論文・面接・実技検査等				大学入学共通テスト・小論文・面接・実技検査等の配点等										備考			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情報	実技	小論文 その他	調査書 その他	配点 合計					
										①	②												
工 学 部	機械・システム工学科 総合型選抜Ⅱ (30) ※特別枠：原子力安全工学科コース (5) ※女子枠 (15) (※は上記3名を含む)	数①『数学Ⅰ、数学A』 数②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理『物理』 (※第1解答科目に限る)	〔2教科3科目〕	実技等 調査書等	「面接」 「調査書」、「その他 (志願理由書、自己推薦書)」 ※調査書、志願理由書、自己推薦書は面接の際にも活用する	共通テスト					100	100	100					300					
						小論文・ 面接・実技 検査等										200		100	100	200			
						最終選考														100	100	400	
						計 (最終選考)				100	100	100			200		100	100	700				
	電気電子情報工学科 総合型選抜Ⅱ (15) ※専門系学科枠(若干名)	数①『数学Ⅰ、数学A』 数②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理『物理』 (※第1解答科目に限る)	〔1教科2科目または2教科2科目〕	実技等 調査書等	「面接 (口頭試問を含む)」 「調査書」、「その他 (志願理由書、自己推薦書)」 ※調査書、志願理由書、自己推薦書は面接の際にも活用する	共通テスト					*250	*250	*250					500					
						小論文・ 面接・実技 検査等												30	60	90			
						最終選考													500		500		
						計 (最終選考)				*250	*250	*250			500			1000					
	建築・都市環境工学科 総合型選抜Ⅱ (10)	数①『数学Ⅰ、数学A』 数②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理『物理』 (※第1解答科目に限る) 外国『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 情『情報Ⅰ』	〔3教科4科目または4教科4科目〕	実技等 調査書等	「面接 (口頭試問を含む)」 「調査書」、「その他 (志願理由書、自己推薦書)」 ※調査書、志願理由書、自己推薦書は面接の際にも活用する	共通テスト					*100	200	*100	選択※ *100 物理 *100	*100			500					
						小論文・ 面接・実技 検査等												40	60	100			
						最終選考												200		40	60	300	
						計 (最終選考)	*100			200	*100	*100	*100		200			40	60	800			
	物質・生命化学科 総合型選抜Ⅱ (20)	数①『数学Ⅰ、数学A』 数②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理『物理』 (※第1解答科目に限る)	〔2教科3科目〕	実技等 調査書等	「面接」 「調査書」、「その他 (志願理由書、自己推薦書)」 ※調査書、志願理由書、自己推薦書は面接の際にも活用する	共通テスト					*200	*200	*200					600					
						小論文・ 面接・実技 検査等														40	60	100	
						最終選考												300		40	60	400	
						計 (最終選考)				*200	*200	*200			300			40	60	1000			
	応用物理学科 総合型選抜Ⅱ (10)	数①『数学Ⅰ、数学A』 数②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理『物理』 (※第1解答科目に限る)	〔2教科3科目〕	実技等 調査書等	「面接」 「調査書」、「その他 (志願理由書、自己推薦書)」 ※調査書、志願理由書、自己推薦書は面接の際にも活用する	共通テスト						100	100	200				400					
						小論文・ 面接・実技 検査等														30	60	90	
						最終選考												400		30	60	490	
						計 (最終選考)				100	100	200			400			30	60	890			

注意 (総合型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 本学が選んだ教科・科目を受験していない者は、総合型選抜を受験しても失格となりますので、必ず本人の責任で確認してください。
 - 受験することを限った教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのお知らせに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
 - ・物質・生命化学科の受験者は、まず「数①」と「数②」の科目を抽出し、その中に「数①」と「数②」の科目がある場合、「理」は第1解答科目、「数①」と「数②」の得点を採用します。
 - 「理」の科目において、本学が1科目を限する場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
 - ・機械・システム工学科、応用物理学科の受験者は、『物理』が必須科目です。『物理』は第2解答科目で受験した場合、『物理』は0点として扱います。『物理』は受験していない場合は失格となります。
 - ・電気電子情報工学科の受験者は、『物理』が第1解答科目でない場合、「数①」と「数②」の科目の得点を採用します。
 - 『英語』は、リーディングの得点 (100点満点) を50点に、リスニングの得点 (100点満点) を50点に換算し、合計得点 (200点満点) を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、『英語』のリーディングの得点 (100点満点) を本学の配点に換算します。
- 【大学入学共通テスト・小論文・面接・実技検査等の配点等】欄
- *印は選択を示します。

VI 私費外国人留学生選抜 (工学部)

実施学部・学科	工学部 機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 応用物理学科
募集人員	各学科 若干名
出願要件	日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) 日本の学校教育制度における修学期間が通算3年以内の者で、次の①～③までのいずれかに該当する者で令和8年（2026年）3月31日までに18歳に達するもの ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年（2026年）3月31日までに卒業した者又は見込みの者で令和8年（2026年）3月31日までに18歳に達するもの ② 文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の専修学校高等課程の学科を文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者 ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む）又は令和8年（2026年）3月31日までに合格見込みの者 (3) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）に3科目以上合格している者（評価E以上） (7) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者 (8) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2024年度（令和6年度）又は、2025年度（令和7年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者 (2) 令和6年（2024年）1月以降に実施されたTest of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験している者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者

選 抜 方 法 等	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する 学力検査等
	日本語	理 科	総合科目	数 学		
	○	○ 物理・化学・生物から2科目	×	コース2 ○	○	面接及び口頭試問
備考1. 日本留学試験の出題言語は、日本語とします。 2. ○印は当該試験を課すことを，×は課さないことを示します。 3. 入学者の選抜は，本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類を総合して行います。						
出 願 期 間	令和7年10月14日（火）～21日（火）					
選 抜 期 日	令和7年11月14日（金）					
合 格 発 表 日	令和7年12月3日（水）					
そ の 他	詳細は，「令和8（2026）年度私費外国人留学生選抜学生募集要項」（5月中旬発表）によります。					

注：志願者には，アメリカのETS (Educational Testing Service)から本学への Official Score Report の送付を求めます。本学（University of Fukui）の TOEFL の D I コード（Designated Institution code）は「0184」です。

(国際地域学部)

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科																				
募集人員	若干名																				
出願資格	日本国籍を持たず（日本国永住許可を得ている者を除く。）、出願時に日本国内に居住する者で、次の基礎資格及び要件を満たす者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）に3科目以上合格している者（評価E以上） (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者 (7) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2024年度（令和6年度）又は、2025年度（令和7年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者 (2) 令和6年（2024年）1月以降に実施されたTOEFL iBT（TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める）を受験している者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者																				
選 抜 方 法 等	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">日 本 留 学 試 験</th><th rowspan="2">TOEFL</th><th rowspan="2">本学が実施する試験等</th></tr> <tr> <th>日本語</th><th>理科</th><th>総合科目</th><th>数学</th></tr> <tr> <td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>面接 (インターネットを利用)</td></tr> </table> 備考1. 日本留学試験の出題言語は、日本語とします。 2. ○印は当該試験を課すことを、×は課さないことを示します。 3. 入学者の選抜は、日本留学試験の成績、TOEFLの成績、面接及び出願書類を総合して判定します。					日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する試験等	日本語	理科	総合科目	数学	○	×	○	×	○	面接 (インターネットを利用)
日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する試験等																
日本語	理科	総合科目	数学																		
○	×	○	×	○	面接 (インターネットを利用)																

出 願 期 間	令和8年1月8日（木）～14日（水）
選 抜 期 日	令和8年1月29日（木）
合 格 発 表 日	令和8年2月13日（金）
そ の 他	詳細は、「令和8（2026）年度私費外国人留学生選抜学生募集要項」（10月上旬発表予定）によります。

注：志願者には、TOEFLの受験者専用サイトETS (Educational Testing Service) アカウントから本学へのスコアの直送手配を求めます。本学(University of Fukui)のTOEFLのDIコード(Designated Institution code) は「0184」です。

(国際地域学部：外国人特別枠)

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科								
募 集 人 員	若干名								
出 願 資 格	日本国籍を持たず、出願時に日本国外に居住し、本学への入学を希望する者で、次の基礎資格及び要件を満たす者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和8年(2026年)3月31日までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）に3科目以上合格している者（評価E以上） (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者 (7) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和8年（2026年）3月31日までに修了見込みの者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) TOEFL iBT（TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める）, IELTS（アカデミック・モジュール）のいずれかを出願前2年以内（2024年1月以降）に受験している者 (2) 日本語能力試験N3以上に合格している者又はN3と同等以上の日本語能力を証明する書類を提出できる者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者								
選 抜 方 法 等	<table><tr><td>TOEFL iBT, IELTS</td><td>日本語能力試験</td><td>本学が実施する試験等</td></tr><tr><td>TOEFL iBT（TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める） またはIELTSのどちらかを受験していること</td><td>N3以上に合格していること</td><td>面接 （インターネットを利用）</td></tr></table> 備考 入学者の選抜は、TOEFL, IELTSのいずれかの成績、日本語能力試験の成績、面接及び出願書類を総合して判定します。			TOEFL iBT, IELTS	日本語能力試験	本学が実施する試験等	TOEFL iBT（TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める） またはIELTSのどちらかを受験していること	N3以上に合格していること	面接 （インターネットを利用）
TOEFL iBT, IELTS	日本語能力試験	本学が実施する試験等							
TOEFL iBT（TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める） またはIELTSのどちらかを受験していること	N3以上に合格していること	面接 （インターネットを利用）							

出 願 期 間	令和 7 年 9 月 29 日（月）～10 月 10 日（金）
選 抜 期 日	令和 7 年 10 月 27 日（月）～10 月 31 日（金） （書類選考及びインターネットを利用した面接のため、来学する必要はありません。）
合 格 発 表 日	令和 7 年 11 月 12 日（水）
そ の 他	詳細は、「令和 8（2026）年度私費外国人留学生選抜（外国人特別枠）学生募集要項」（7 月下旬発表）によります。

注：志願者には、アメリカの E T S (Educational Testing Service) から本学への Official Score Report の送付を求めます。本学（University of Fukui）の TOEFL の D I コード（Designated Institution code）は「0184」です。

Ⅶ 資料の請求方法

入学者選抜要項（この資料）、一般選抜学生募集要項（※テレメールによる請求は可能）、学校推薦型選抜学生募集要項（教育学部／医学部医学科／医学部看護学科／工学部／国際地域学部）、総合型選抜学生募集要項（教育学部／工学部／国際地域学部）、私費外国人留学生選抜学生募集要項（工学部／国際地域学部）について、冊子体での配付は行いません。公表したのから順次、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試日程・募集人員・募集要項」に掲載しますので、各自で閲覧またはダウンロードしてください。

大学案内、その他冊子体で配付可能な資料の請求方法は次によります。

1. テレメールによる請求方法

（１）福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求」から

 テレメールにアクセスしてください。

（２）テレメールによる請求方法

① テレメールにアクセスしてください。

インターネット パソコン・スマート フォン	https://telemail.jp 右記コードを読み取るだけでアクセスできます。	
-----------------------------	---	---

② 請求を希望する資料請求番号（６桁）を入力してください。

- ・大学案内 : 5 6 3 2 5 2
- ・一般選抜学生募集要項 : 5 8 3 2 5 2

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・請求してから３～５日後に資料が届きます。
- ・受付時間や地域、配達事情によっては、到着までに１週間ほどかかる場合があります。
- ・送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。
（支払いに際して手数料が別途必要になります。）
- ・ テレメールでの請求についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「希望する資料名」を明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、本学学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

FAX : 0776-27-8010

3. 窓口での請求方法（インターネット出願以外の選抜のみ）

以下の本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00）

文京キャンパス：福井県福井市文京３－９－１

福井大学学務部入試課

VIII 入学検定料免除（返還）・入試過去問題活用宣言

入学検定料免除（返還）について

福井大学では、災害により被災した入学志願者の経済的負担を軽減し進学機会の確保を図るため、入学検定料に対する免除等の特別措置を講じます。

免除の対象となる災害やその対象者、申請方法等の詳細については、福井大学 HP の下記のサイトを確認してください。

福井大学トップページ/受験生の方へ/入試情報・募集要項/入学検定料返還・免除請求
https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

ご不明な点がある場合は、出願時までに学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 福井大学学務部入試課 Tel 0776-27-9927 E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

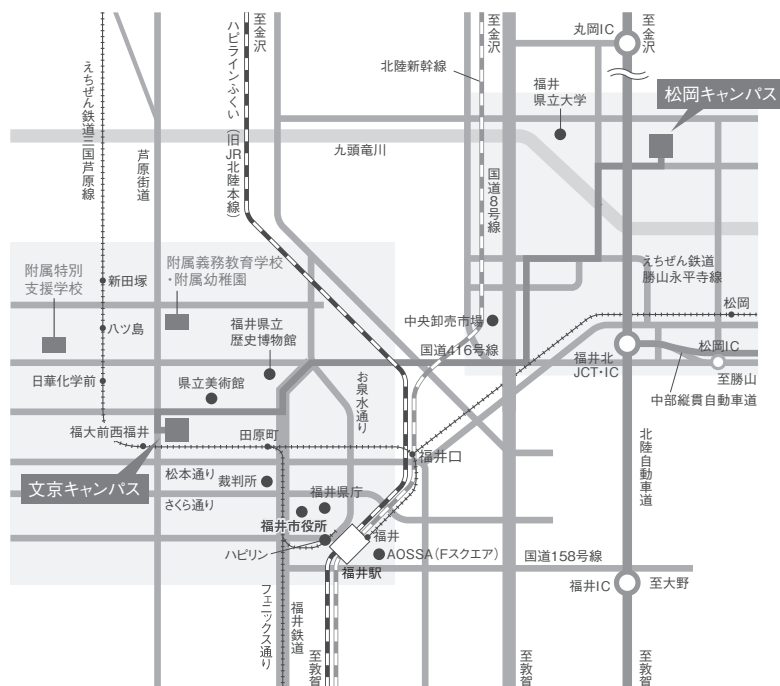
「入試過去問題活用宣言」への参加について

福井大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のホームページにてご確認ください。
「入試過去問題活用宣言」ホームページ (<http://www.nyushikakomon.jp/index.html>)
- (2) 入試過去問題を必ず使用するとは限りません。また、使用する際は、そのまま使用する場合も、一部改変して使用する場合があります。
- (3) 過去問題を使用した場合は、入学者選抜試験終了後、公表いたします。

(空白ページ)

福井大学位置図



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄 道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約10分)ー福井大学前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー福大前西福井駅下車
[福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約10分)ー福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約35分)ー福井大学病院前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー松岡下車 バスに乗り換え約5分
[福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約30分)ー福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km
※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車 大阪・京都ー湖西線經由ー福井
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車 大阪・京都ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都ー<名神・北陸>ー福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

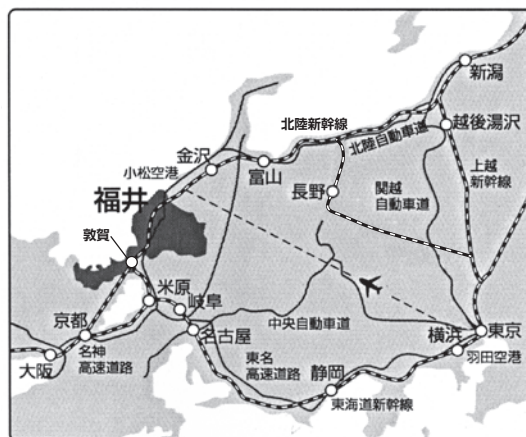
- 電車 名古屋・静岡ー米原經由ー福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車 名古屋ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バス 名古屋ー<名神・北陸>ー福井(約2時間50分)

東京方面から

- 飛行機 東京羽田ー小松空港(1時間)ー福井(連絡バス1時間)
- 電車 東京ー福井(新幹線約2時間50分)(直通)
東京ー米原經由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京ー<東名・名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車 金沢・新潟ー福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車 金沢ー<北陸>ー丸岡ー福井北JCT・IC(約1時間)



＜入試に関する問い合わせ先＞

福 井 大 学

学務部入試課

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1

電話 0776-27-9927

メール g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

学務部松岡キャンパス学務課

松岡キャンパス（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8830

メール m-nyushi@ml.u-fukui.ac.jp

＜注意＞

- ・入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの入学者選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】

- ・福井大学 スマホ・携帯電話サイト

本学のオープンキャンパス情報、資料請求方法、一般選抜出願状況速報などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。

【携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/u-fukui/>】



＜スマホ・携帯電話サイト＞

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この入学者選抜要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。